

6 リレーションシップの設定

Lesson 1 ▶ 手動でのリレーションの設定

第1章

第2章

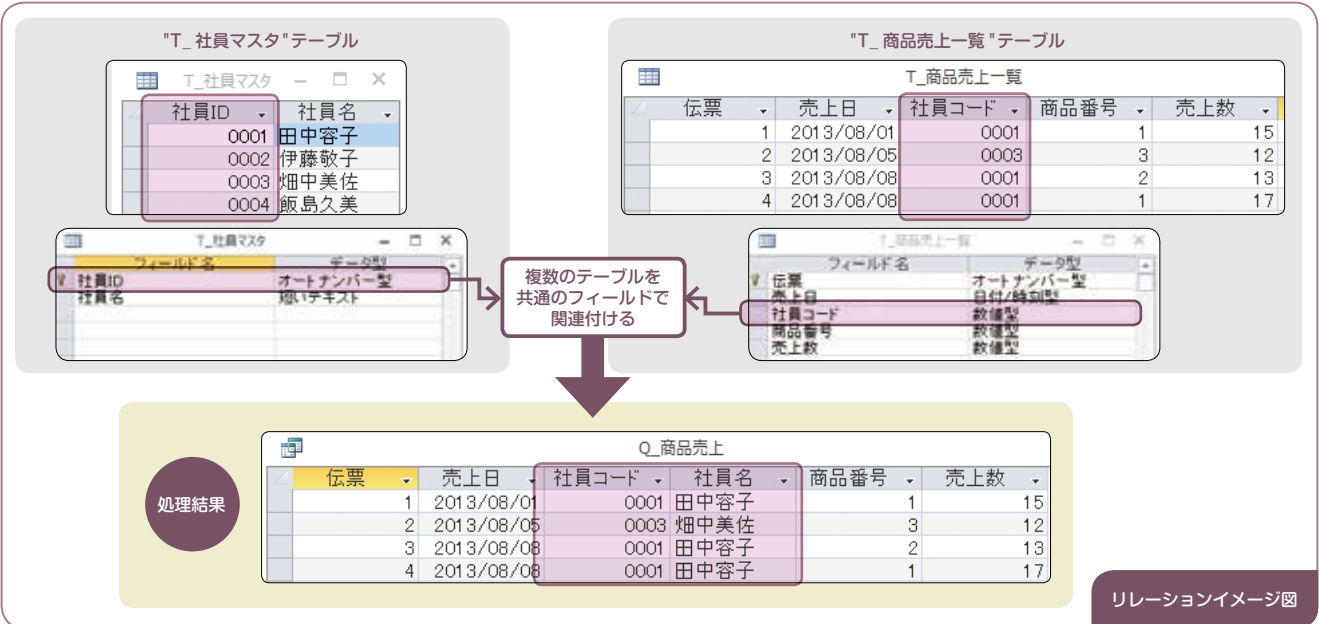
第3章

第4章

第5章

第6章

チェック問題



Accessでは共通のフィールドを持つテーブル同士を関連付けて利用することができます。リレーションシップとは、テーブル間の共通フィールドに関連付けをすることです。

使用ファイル

リレーションシップ

Point

▶リレーションを設定する際の注意点

- 一側テーブル（マスター側）のフィールドの主キーとそれに対応する多側テーブル（トランザクション側）のフィールドを結びつけて設定します。
- 一側テーブルのフィールドに主キーを設定します。
- リレーションを設定するフィールドのデータ型は、主キーフィールドがオートナンバー型である場合を除き同じでなくてはなりません。データ型が同じであれば、フィールド名は異なっても問題ありません。

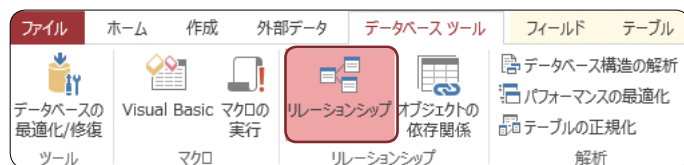
- "T_社員マスタ"テーブルと "T_商品売上一覧"テーブルにリレーションシップを定義しましょう。

- 1 リレーションシップを設定する2つのテーブルの共通フィールドのデータ型が同じであることを確認します。

"T_社員マスタ"テーブルの[社員ID]フィールドと、"T_商品売上一覧"テーブルの[社員コード]フィールドのデータ型を確認します。

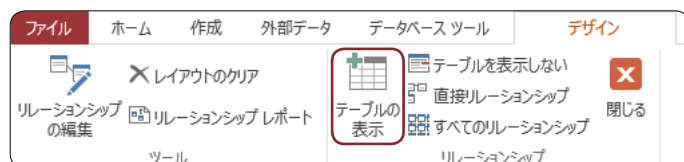
* オートナンバー型のフィールドには数値が入りますので、数値型のフィールドとリレーションを設定することができます。

- 2 [データベースツール] タブ-[リレーションシップ] グループの [リレーションシップ] をクリックします。



- 3 [リレーションシップ] ウィンドウが表示されます。

[デザイン] タブ-[リレーションシップ] グループの [テーブルの表示] をクリックします。



Point

複数テーブルの選択は【Shift】キーまたは【Ctrl】キーで行います。連続するテーブルを選択するには【Shift】キー、非連続のテーブルを選択するには【Ctrl】キーを利用します。

Point

リレーションシップの種類については後ほど詳しく学習しますが、今回のようにリレーションシップを設定した片側のテーブルのフィールドに主キーを設定し、もう一方のフィールドには主キーを設定していないリレーションシップの種類を「一対多」といいます。一般的なリレーションシップの種類です。

参考

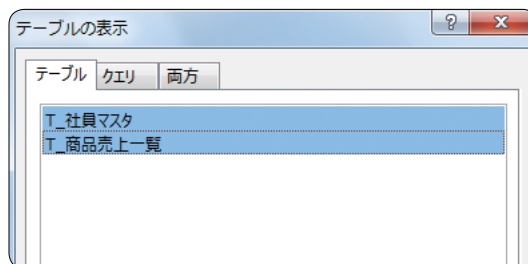
▶結合フィールド

リレーションシップの設定によって結びつけられているフィールドを、結合フィールドといいます。

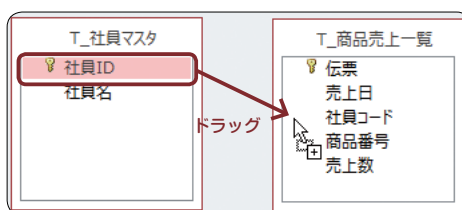
Point

レイアウトの保存はしなくても、リレーションシップの設定そのものには影響ありません。

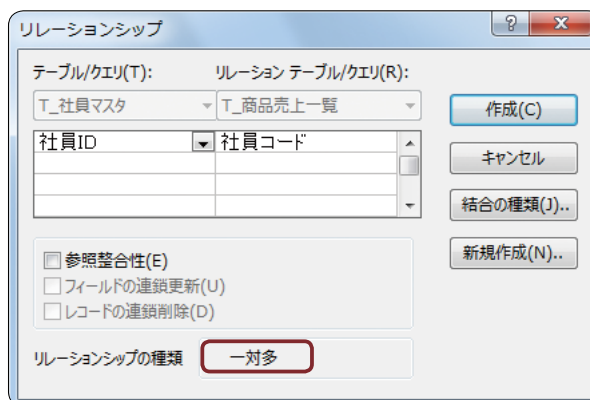
- ④ リレーションシップを定義するテーブルを選択して、[追加]をクリックします。その後、[閉じる]をクリックします。



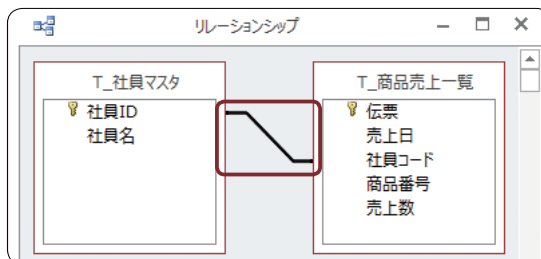
- ⑤ リレーションを設定するフィールドからフィールドへドラッグします。
*今回は "T_社員マスタ" テーブルの [社員 ID] フィールドと、"T_商品売上一覧" テーブルの [社員コード] フィールドにリレーションシップを定義します。



- ⑥ [リレーションシップ] ダイアログボックスの [リレーションシップの種類] が「一対多」であることを確認して、[作成]をクリックします。



- ⑦ [リレーションシップ] ウィンドウで、結合線が表示されていることを確認します。



- ⑧ [デザイン] タブ-[リレーションシップ] グループの [閉じる] をクリックして、[リレーションシップ] ウィンドウを閉じます。
⑨ 保存の確認メッセージは [はい] をクリックします。

TRIAL リレーションシップについて確認しましょう。